

所属 交流文化学部		職名 教授	氏名 藤井 真湖	学位 文学博士	兼担している研究科 グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科
研究分野 文学、言語学およびその関連分野			研究分野のキーワード 諸地域諸言語の文学		
学歴					
1989年03月	大阪外国語大学（現在は大阪大学）外国語学部モンゴル語学科卒業				
1992年03月	大阪外国語大学大学院修士課程修了				
1998年03月	総合研究大学院大学文化科学研究科地域文化学専攻修了（文学博士）				
職歴					
2005年04月	愛知淑徳大学現代社会学部講師				
2008年04月	愛知淑徳大学現代社会学部准教授				
2010年04月	愛知淑徳大学交流文化学部准教授				
2013年04月	愛知淑徳大学交流文化学部教授				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
『元朝秘史』におけるテムジン・ウゲ：テムジン・ウゲが勢力均衡論者でイエスゲイ・バアトルの戦略アドバイザーであったという仮説に基づいて	単著	2022年03月	愛知淑徳大学 愛知祝禱大学論集～グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科篇 14号		15頁～42頁
『元朝秘史』におけるチンギス・カンの死：イエスイとトルン・チェルビが関わっていたという仮説に基づいて	単著	2023年03月	愛知淑徳大学 愛知淑徳大学論集. グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科篇 (15), 15	[愛知淑徳大学グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科]論集編集委員会	1頁～28頁
『元朝秘史』における叙述のダイナミクスと作者の交代：故郷への帰還の役割とコロフォン § 282における特異な終結の分析	単著	2024年03月	愛知淑徳大学論集. グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科篇 16	[愛知淑徳大学グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科]論集編集委員会	1頁～30頁
『元朝秘史』巻4におけるジュルキンに関連する叙述に隠された意図：第129節から第140節を中心に	単著	2025年03月	愛知淑徳大学論集. グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科篇 17	[愛知淑徳大学グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科]論集編集委員会	35頁～62頁
【第49回 大会シンポジウム 叙事詩の歴史と現在・未来】鏡像的に並置された伝承がひらく問い	単著	2026年03月	オリオン出版 口承文芸研究 第49号		58頁～61頁
『元朝秘史』における英雄叙事詩的意味構造と聴覚的意匠 - 婚姻交渉に隠された毒のメッセージ -	単著	2026年03月	オリオン出版 口承文芸研究 第49号		65頁～70頁
学会発表					
『元朝秘史』におけるアング概念―拙論の解題とその後の考察	単独発表	2021年12月	日本モンゴル文学会(オンライン)		
Монголын орчин еийн зохиолчийн ардын аман зохиолд хандах хандлага	単独発表	2023年05月	モンゴル科学アカデミー言語文学研究所 & 昭和女子大学国際文化研究所共催 国際学術会議「現代モンゴル（文学）語の形成」(昭和女子大学オーロラホール（8号館6階）& オンライン)		
The Role of Heroic Epic Studies in Analyzing narrative Breaks within the Secret History of the Mongols	単独発表	2023年08月	THE 12th INTERNATIONAL CONGRESS OF MONGOLISTS(Lecture Hall 203, 2nd Floor, Library		

Exploring the Interpretation of Jangar ' s Palace in the Kalmyk Version of " Jangar " : Is It the Palace with Ten Levels, Adorned in Nine Colors?	単独発表	2023年10月	Building, National University of Mongolia) МЕЖДУНАРОДНАЯ КОНФЕРЕНЦИЯ «РОССИЯ И МОНГОЛЬСКИЙ МИР В ПРОСТРАНСТВЕ ТРАНСГРАНИЧЬЯ : ФОЛЬКЛОР, ИСТОРИЯ И ЯЗЫК» (К 80-ЛЕТИЮ СО ДНЯ РОЖДЕНИЯ ПРОФЕССОРА Н.Ц. БИТКЕЕВА)(カルムイク共和国（ロシア）オンドマンドで参加)		
『元朝秘史』における英雄叙事詩の意味構造と聴覚的意匠 — 婚姻交渉に隠された毒のメッセージ	単独発表	2025年03月	日本口承文芸学会 第87回研究例会「叙事詩研究の現在と可能性」(Zoom)		
Christian Influence and Mongolian Heroic Epic Narratives	単独発表	2025年04月	the International Conference on the Epic Studies(アテネ)		
シンポジウム 叙事詩の歴史と現在・未来のコメンテータ	単独発表	2025年06月	日本口承文芸学会 第49回大会(北海道大学)		
作品・制作等					
その他業績					
学会等における主な活動					
受賞					
所属学会					
1989年10月 ～ 現在	日本モンゴル学会			1989年10月 ～ 現在	会員
1999年04月 ～ 現在	日本民族学会（現在の日本文化人類学会）			1999年04月 ～ 現在	会員
2001年04月 ～ 現在	言語文化学会			2001年04月 ～ 現在	会員
				2024年04月 ～ 2025年03月	事務局長
2001年04月 ～ 現在	日本口承文芸学会			2001年04月 ～ 現在	会員
2002年04月 ～ 現在	The International Association for Mongol Studies (Ulaanbaatar, Mongolia)				
2007年11月 ～ 現在	内陸アジア史学会			2007年11月 ～ 現在	会員
2012年09月 ～ 現在	東方学会				
2019年12月 ～ 現在	日本モンゴル文学会				
社会活動					
2020年04月01日 ～ 現在	日本モンゴル学会の学会誌の編集委員				
2023年04月01日 ～ 現在	日本口承文芸学会理事(2024年度は事務局)				
2023年04月22日	公益社団法人日本モンゴル協会の講演会「モンゴル口承文芸における隠喩を考えるー文学と歴史の交差点という観点から」（早稲田大学文学学術院33号館16階 第10会議室）				
教育活動					
教育実践上の主な業績			年 月 日	概 要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)					

2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		
5 大学運営		
Ⅴ 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		